

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質	(該当分類に○を付記)	
技術名称	建設業向けe-ラーニングシビルカレッジ	担当部署	常務理事
NETIS登録番号		担当者	西 保幸
社名等	一般社団法人九州地方計画協会	電話番号	092-473-1057
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	<p>建設業界の労働環境は、他産業に比べて厳しく、若い人材が入職、定着しづらいとともに、在職者の離職(他業種への転職等)が深刻な課題となっている。その原因のひとつが、「ゆとりを持ってない」ということである。また、建設会社及び建設業界全体のイメージも良いとは言えない状況にある。</p> <p>よって、これらの状況を打開するために、まずは技術系社員の教育をICT技術を用いて効率的かつ効果的に行い、個人のスキルアップを図ることによって現場の生産性の向上を実現し、技術者個人の「ゆとりの時間」を生み出すことが、建設業のイメージアップへの一助となると考えた。ITリテラシーの高い若い人材を教育する際にもICT教育環境は最適である。教育する側、教育を受ける側の双方の生産性向上、利便性向上につながる最適な教育システムと考える。</p>		
	2. 技術の内容		
	<p>新技術ではないが、既存のオンラインシステムを活用して、数分単位といった短時間かつ多数のコンテンツによる現場技術習得のための動画配信、JCMのCPDSユニットが取得可能なリアルタイムでのオンラインセミナー及び30分から50分程度の動画視聴によるインターネット学習といったものを1セットにした教育システムである。</p>		
	3. 技術の効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・JCMのCPDSユニットの取得 ・工事事務防止等安全に関する知識の向上 ・施工技術に関する知識の向上 ・動画学習で学習意欲の向上 ・e-ラーニングでスキマ時間を活用した学習が可能 ・ICT教育で育ったこれからの若手にも最適な教育システム 			
4. 技術の適用範囲			
<p>WEB環境があれば、会社、現場、自宅、出先等どこでも学習可能。 ただし、土木系技術者向けに設定。</p>			
5. 活用実績			
2023年8月リリース予定			

6. 写真・図・表



図1 サイトトップ



図2 インターネット学習イメージ

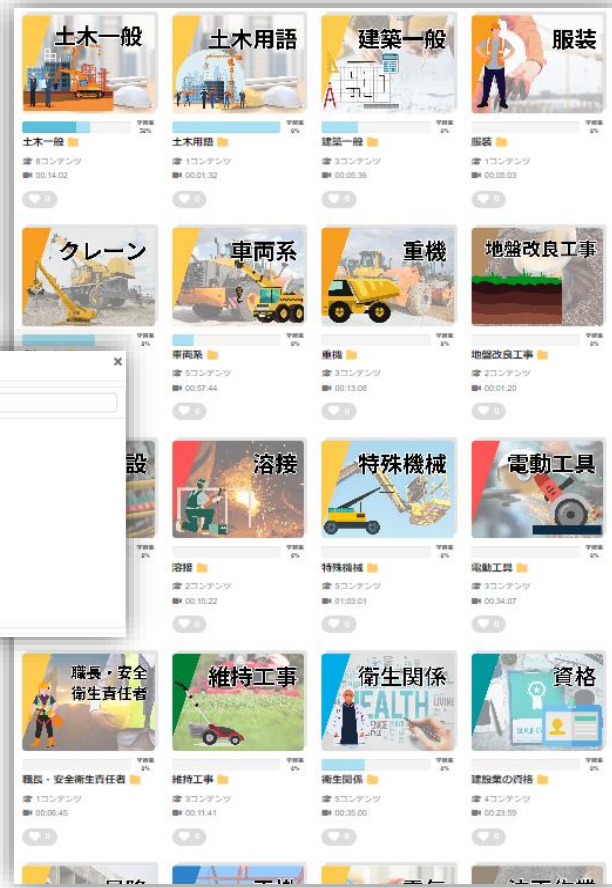


図3 デジタル教材イメージ